

U.S. Indicators

発表日: 2023年11月15日(水)

米国 コアインフレは予想を下振れ鈍い低下継続(10月 CPI)

～市場が早期利下げ期待を強めたため、金融環境の引き締まりは大幅緩和～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治 (Tel: 050-5474-7493)

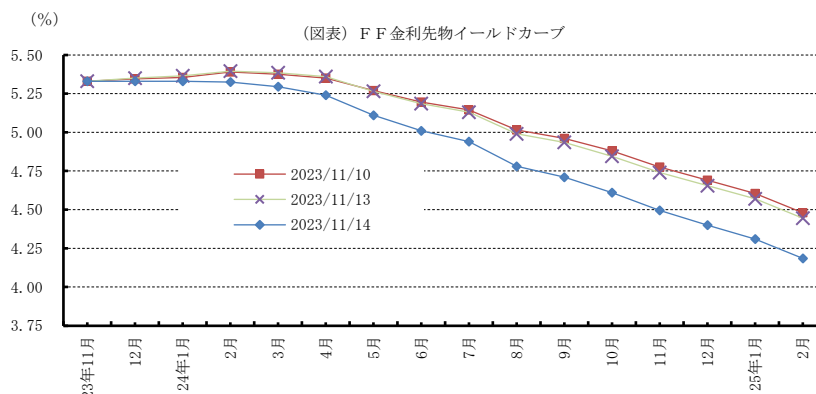
消費者物価												
	総合		コア		エネルギー	食品	住宅	アパレル	運輸	医療	財 コア	サービス コア
22/10	+0.488	(+7.7)	+0.333	(+6.3)	+1.7	+0.7	+0.6	▲0.2	+0.7	▲0.3	▲0.1	+0.5
22/11	+0.205	(+7.1)	+0.310	(+6.0)	▲1.4	+0.6	+0.5	+0.1	▲0.7	▲0.4	▲0.2	+0.5
22/12	+0.131	(+6.5)	+0.399	(+5.7)	▲3.1	+0.4	+0.7	+0.2	▲1.6	+0.3	▲0.1	+0.6
23/01	+0.517	(+6.4)	+0.412	(+5.6)	+2.0	+0.5	+0.8	+0.8	+0.4	▲0.4	+0.1	+0.5
23/02	+0.370	(+6.0)	+0.452	(+5.5)	▲0.6	+0.4	+0.5	+0.8	+0.2	▲0.5	▲0.0	+0.6
23/03	+0.053	(+5.0)	+0.385	(+5.6)	▲3.5	+0.0	+0.3	+0.3	▲0.5	▲0.3	+0.2	+0.4
23/04	+0.368	(+4.9)	+0.409	(+5.5)	+0.6	+0.0	+0.2	+0.3	+1.2	▲0.0	+0.6	+0.4
23/05	+0.124	(+4.0)	+0.436	(+5.3)	▲3.6	+0.2	+0.2	+0.3	▲0.2	+0.1	+0.6	+0.4
23/06	+0.180	(+3.0)	+0.158	(+4.8)	+0.6	+0.1	+0.3	+0.3	+0.2	+0.0	▲0.1	+0.3
23/07	+0.167	(+3.2)	+0.160	(+4.7)	+0.1	+0.2	+0.4	▲0.0	▲0.1	▲0.2	▲0.3	+0.4
23/08	+0.631	(+3.7)	+0.278	(+4.3)	+5.6	+0.2	+0.3	+0.2	+2.6	+0.2	▲0.1	+0.4
23/09	+0.396	(+3.7)	+0.323	(+4.1)	+1.5	+0.2	+0.6	▲0.8	+0.3	+0.2	▲0.4	+0.6
23/10	+0.045	(+3.2)	+0.227	(+4.0)	▲2.5	+0.3	+0.3	+0.1	▲0.9	+0.3	▲0.1	+0.3

(注) 括弧内は前年同月比

23年10月の消費者物価(総合)は、前月比+0.0%(9月同+0.4%)と低下し、市場予想中央値+0.1%(筆者予想同+0.1%)を下回った。食品が前月比+0.3%(9月同+0.2%)と加速した一方、ガソリンなどエネルギーが同▲2.5%(同+1.5%)と下落したほか、エネルギー・食品を除く消費者物価(CPIコア)は同+0.227%(同+0.323%)と低下し、市場予想中央値同+0.3%(筆者予想前月比+0.3%)を下回った。

前年同月比では、総合が+3.2%(9月+3.7%)と低下し、市場予想中央値+3.3%(筆者予想+3.3%)を下回った。エネルギーが▲4.5%(同▲0.5%)と下落幅を拡大したほか、食品が+3.3%(同+3.7%)と低下した。さらに、CPIコアは+4.0%(同+4.1%)と低下し、市場予想中央値の+4.1%(筆者予想+4.1%)を下回った。

CPIコアが市場予想中央値を下振れ、鈍いながらも前年比で低下したことを受け、FF先物市場では追加利上げの確率がほぼゼロとなった。同時に、利下げ開始が来年5月ごろに前倒しされるとの見方を強め、市場金利が大幅に低下、株価は大幅に上昇した。ドルは主要通貨に対して水準を切り下げるなど、金融環境の引き締まりは大幅に緩和した。

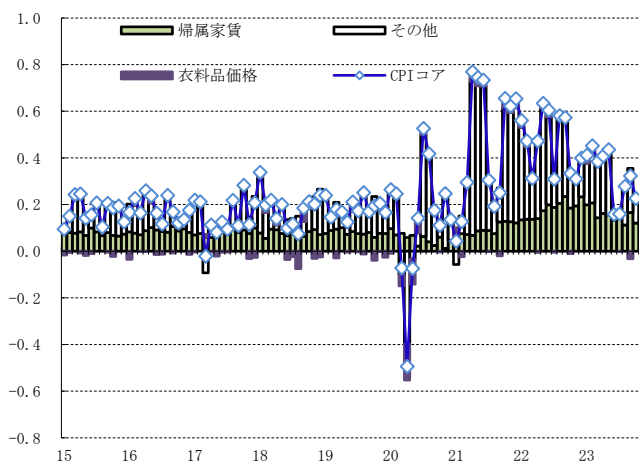


CPIコアでは、財コアが前月比▲0.1%（9月同▲0.4%）とマイナス幅を縮小したものの、サービスコアが前月比+0.3%（同+0.6%）と低下した。財では、衣料品、医療用品が上昇に転じたほか、その他財が上昇した。一方、新車、教材、情報機器が下落に転じたほか、家庭用耐久・消耗品、中古車、自動車部品が下落を続けた。また、余暇商品、アルコール飲料が低下した。

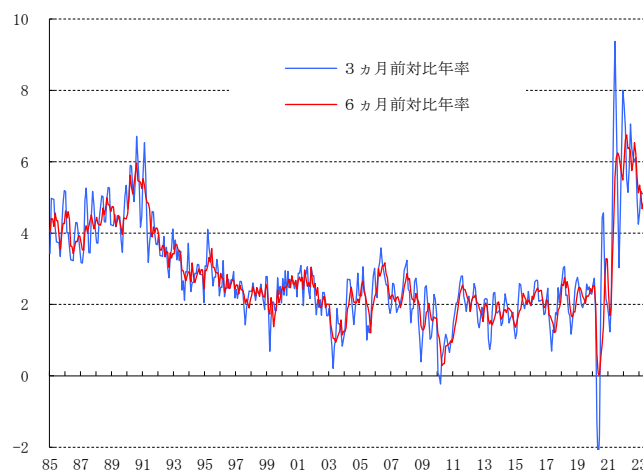
サービスでは、医療保険が上昇に転じたうえ、賃料、病院、自動車保険が高い伸びを続けた。一方、ホテル・宿泊、航空運賃、レンタカー、専門医療、インターネットサービスが下落したほか、帰属家賃、余暇サービス、その他個人向けサービスが低下した。

インフレの基調を示すCPIコアの安定には、前月比で+0.2%以下の低い伸びが継続する必要があるものの、6、7月以外は上回っている。また、インフレの上昇モメンタムをみると、6カ月前対比年率では+3.2%（前月+3.6%）と低下し、中期的なインフレ圧力が弱まっている一方、3カ月前対比年率で+3.4%（前月+3.1%）と上昇し、コアインフレの短期的な上昇モメンタムが強まった。

CPIコアの寄与度分解（前月比）



CPIコアの推移

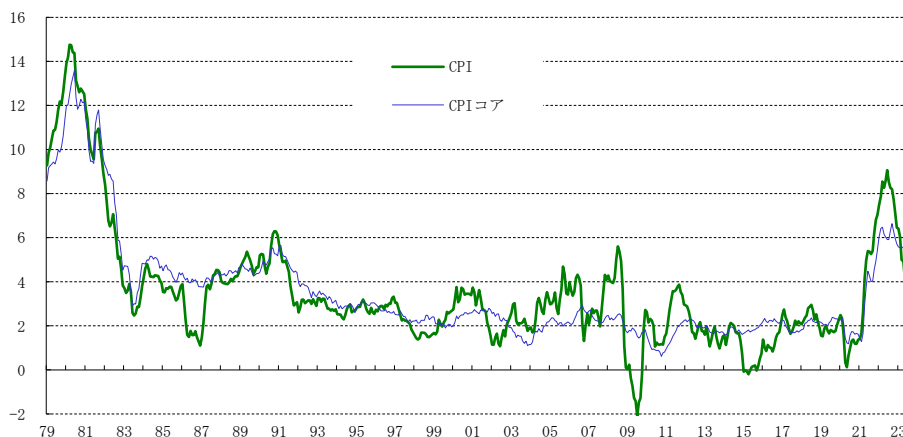


前年同月比では、総合が+3.2%（9月+3.7%）と低下し、市場予想中央値+3.3%（筆者予想+3.3%）を下回った。エネルギーが▲4.5%（同▲0.5%）と下落幅を拡大したうえ、食品が+3.3%（同+3.7%）と低下した。さらに、CPIコアは+4.0%（9月+4.1%）と低下し、市場予想中央値の+4.1%（筆者予想+4.1%）を下回り、鈍いながら低下傾向を維持した。

CPIコアでは、財コアが+0.1%（9月0.0%）と上昇したが、サービスコアが+5.5%（同+5.7%）と小幅低下した。財コアでは、医薬品など医療用品、衣料が上昇した一方、中古車、自動車部品、娯楽用品、教科書、情報機器が下落したほか、新車等が低下した。

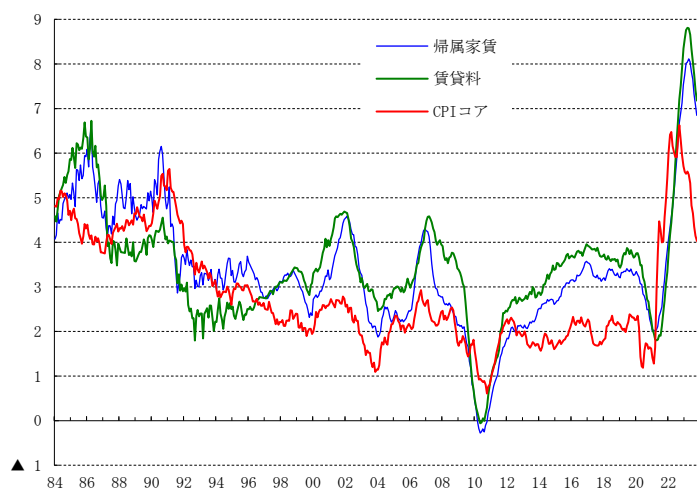
サービスコアでは、医療保険、レンタカー、航空運賃、携帯が下落したほか、賃貸料、帰属家賃が高い伸びながら低下した。ただし、サービスコアが前年比+5.5%と高い伸びにとどまっており、CPIコアは鈍い低下を続けている。

(%) 米国：CPIとCPIコア物価の推移(前年同月比)



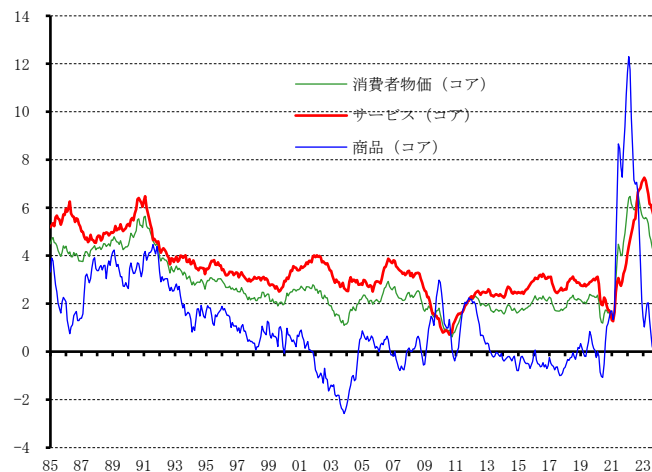
(出所) 米労働省

(%) CPIコアと帰属家賃・家賃の推移(前年同月比)



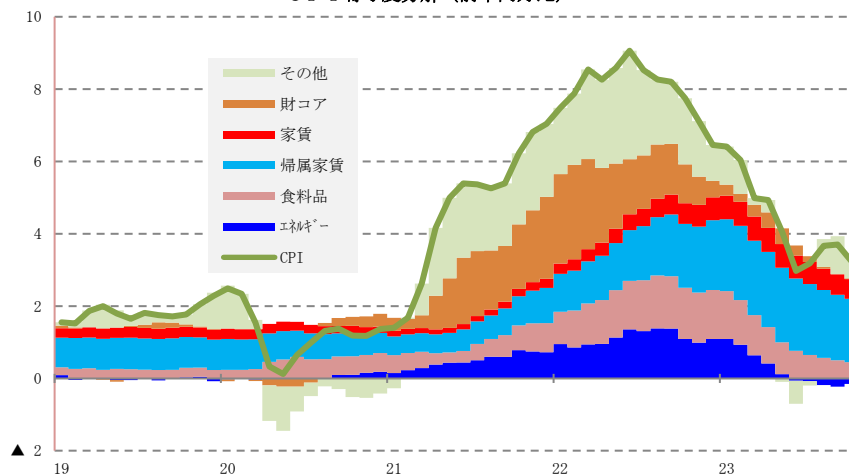
(出所) 米労働省

(%) 商品・サービス価格の推移(コア、前年比)

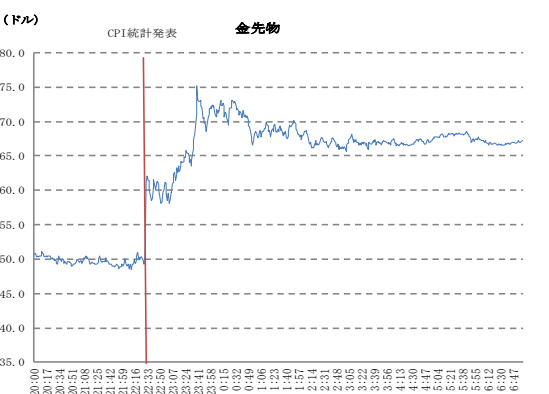
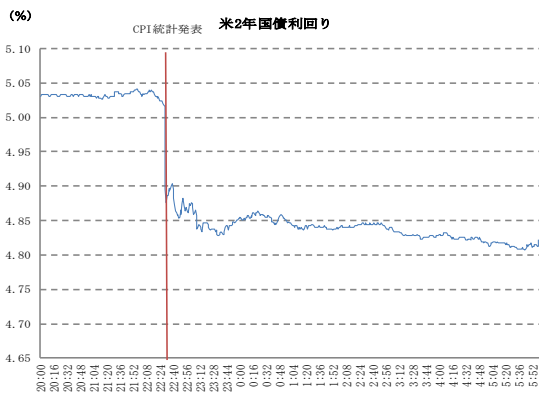
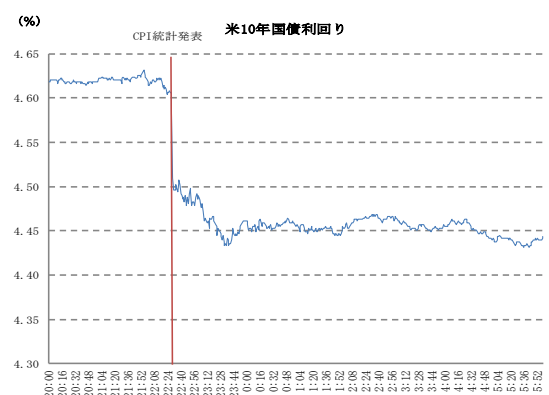
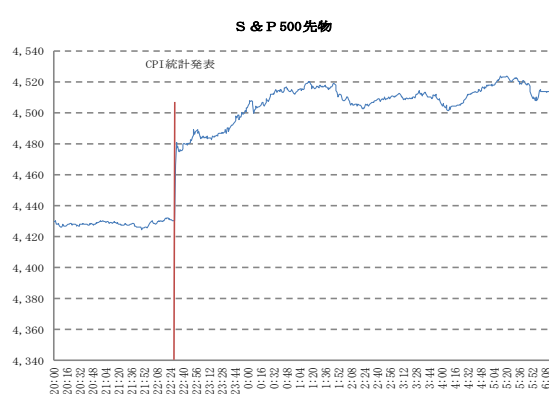
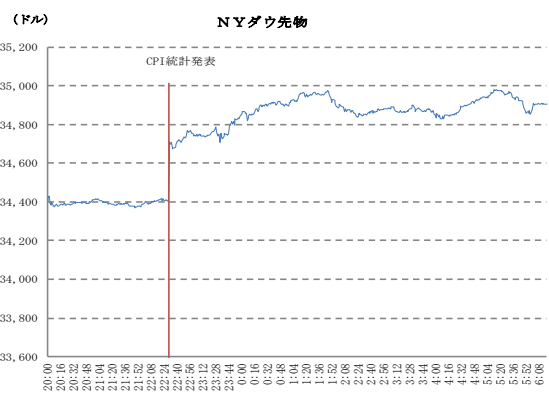
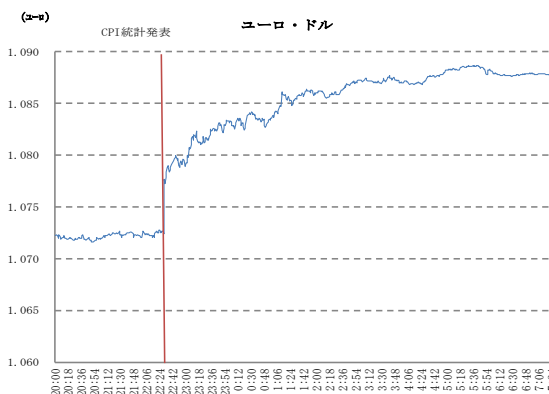
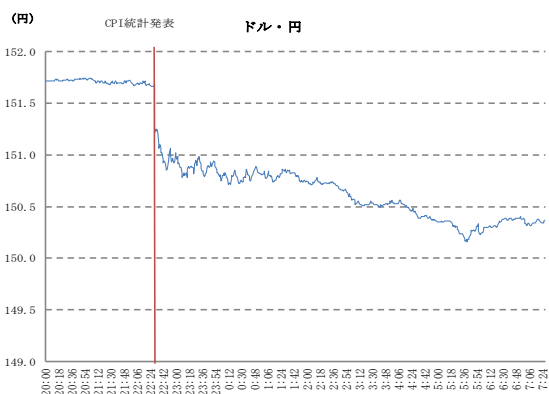


(出所) 米労働省

(%) CPI寄与度分解(前年同月比)



(出所) 米労働省



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。